

<p>一般社団法人青森県作業療法士会広報誌</p> <h1>Wa!!</h1> <p>—web版—</p>	<p>—第9号—</p> <p>一般社団法人 青森県作業療法士会 広報誌 Wa!!-web版-</p> <p>○発行日： 平成24年8月31日</p> <p>○発行責任者： 青森県作業療法士会 原長也</p>
---	--

楽しく 自分らしく

一般社団法人 青森県作業療法士会会長 原長也

読者の皆様、青森県作業療法士会の広報誌『Wa!!』をいつもお読みいただきありがとうございます。私たちは広報誌を通して1人でも多くの方が「作業療法」に興味と理解をもち、健康的で豊かな生活を実感できるよう願いながら頑張っています。

さて、作業療法（士）の理解を深めていただくために身近な例を紹介します。病気やお体が不自由な方の中には、体が元に戻れば何でもできると考えて運動だけを一生懸命行う方がいらっしゃいます。でもそれだけでは運動の効果は上がりず長続きしないことが多くあります。むしろ自分らしさを発揮できる活動をイメージし、それに向けて足りない部分を運動などで補う方が効果は上がりやすくなります。たとえば、長く立ってられない方が単に立つ練習を行うのではなく、台所で卵焼きを作る間立っていることや庭木に水を撒く間立っていることなど具体的なイメージをすることが大切です。そして、楽しいことや自分らしさを発揮するために具体的な活動ができるよう行うことが作業療法で、そのために援助するのが作業療法士です。

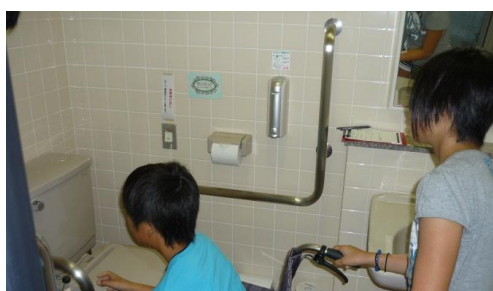
今後とも「Wa!!」をどうぞお楽しみに。



夏休み子ども作業療法体験講座

リハビリってな～に??が開催されました。

去る平成 24 年 7 月 28 日に一般社団法人青森県作業療法士会主催で「夏休み子ども作業療法体験講座：リハビリってな～に??」が開催されました。当日は、夏らしい天気の中、元気な小学生 12 名が参加してくれました。その様子をご報告いたします。



普段は乗れない車椅子操作を体験しました。
体育館の中も一人で自由に操作して楽しみました。



高齢者の疑似体験をしました。



片手でうちわやブレスレットを作りました。
いつもは使わない左手での作業に大変苦労していました。

来年度も作業療法体験講座の開催を予定しております。是非、興味のある方は、ご参加ください。お待ちしております。

<広報部>

診療報酬・介護報酬改定から見えること

平成24年度は、ダブル改定と言われる診療報酬（2年ごと）・介護報酬（3年ごと）の同時改定が行われました。これは、「報酬」という言葉にあるように医療・福祉におけるサービスの価格を含む内容を決めることを意味していますが、新たに進む医療・福祉の方向性を示している側面も持っています。

ここ近年の改定状況を示すキーワードとして『在宅』と『連携』が挙げられています。具体的には、発症早期の関わりと短期間での地域生活への移行するサービスが高く評価されてきています。

この中での一つの例として、介護療養型医療施設でのリハビリは、入院期間に関わらず利用は可能ですが、入院後間もない期間に集中的に行うリハビリが現在、推進されています。そのため入院してから3ヶ月の間は、早期かつ集中的にリハビリを利用する事ができ「短期集中リハビリテーション」と呼ばれています。この「短期集中リハビリテーション」の対象となる患者様の疾患は多岐に渡りますが、認知症の場合については「認知症短期集中リハビリテーション」を利用する事ができます。この時に私たち作業療法士は、認知面の訓練や日常生活

の訓練を一緒に行い、認知症患者様の認知機能や問題行動の改善、生活機能の向上の支援をしています。

今回の改定では、在宅生活の継続に向けた支援体制を強化する動きにもなっていますので、リハビリテーションの役割が更に重くなってきていると思われます。



<広報部>

平成24年度 青森県作業療法士会公開講座のご案内

①「がんのリハビリテーション」

講師：新谷 亨 氏（十和田市立中央病院 リハビリテーション科）

日時：平成24年9月8日（土）

14：00～15：30（受付開始13：30～）

場所：弘前市総合学習センター 2F 大会議室

内容：医学の進歩により、がんは日常生活を維持しながらの治療が可能となってきています。がんとともに「暮らす」ために作業療法士が行う支援について、乳がんやがんに伴って発症するリンパ浮腫を例に挙げながらお伝えします。

②「老年期のリハビリテーション」

講師：辻 孝弘 氏（介護老人保健施設明生園）

日時：平成24年11月23日（金・祝日）

14：00～15：30（受付開始13：30～）

場所：弘前市総合学習センター

内容：作業療法士は、老いや病気による日常生活の問題を解決するために様々な場所でリハビリテーションサービスを提供しています。今回は、老年期に多い脳卒中を例に作業療法士のリハビリテーションの実際をお伝えします。

一般社団法人

青森県作業療法士会

事務局

〒036-8564 弘前市本町 66-1

TEL & FAX：0172-39-5991

ホームページ：<http://www.aomoriot.org/>

—お知らせ—

広報誌についての意見・感想や、
希望する企画を募集します。

kouhou02@aomoriot.org まで